

# 課題別研修 「地域資源に基づいた 乳肉生産のための牛の飼養管理」



対象国：スリランカ、パプアニューギニア、ミャンマー  
受入人数：6名  
受入期間：2019年9月17日～2019年11月21日

多くの開発途上国の農村部において貴重な収入源の1つである牛は、様々な用途に利用されながらも飼料の供給量や質、不適切な飼養管理、疾病等により、生産される乳肉の量や質は低く留まっています。

本コースは普及指導員や獣医等の、生産者への指導的立場にある研修員を対象に、牛の飼養管理の改善により、農家の収入向上に貢献することを目的として実施されました。

温暖な参加国で豊富に採れる果物の副産物を活用した飼料作製や、繁殖技術の指導等、本研修で得た知見の普及による飼養管理の向上が期待されます。



多くの牧場を訪れ、牛舎の設備や飼料、牛の健康状態について学びました。



牛の健康や栄養状態を評価する「ボディコンディションスコア」と「ルーメンフィルスコア」の測定実習を行いました。



生乳の乳質検査を体験しました。



終盤には研修中に作製し発酵させたサイレージの質を評価しました。